

令和3年4月1日

大阪府知事 吉村 洋文 様

公明党大阪府議会議員団  
団 長 林 啓 二  
幹事長 肥後 洋一朗

### コロナ禍で困難を抱える女性に対する支援に関する緊急要望

新型コロナウイルス感染拡大に依然として収まらない中、府民一人一人の生活に多大な影響が生じている。特に女性の非正規労働者は1月の労働力調査で前年同月比68万人減と男性の3倍超えで減少し、雇止めが進んでいる。また、ひとり親家庭を含む低所得の子育て家庭など、特に女性の生活困窮が一層の深刻さを増している。女性困窮者の孤独・孤立化を防ぐためにも、支援を必要とする人に支援策や相談窓口の情報が的確に届くなど、更なる支援が求められる。

公明党大阪府議会議員団は、現下の状況を踏まえ、緊急要望をとりまとめた。知事におかれては、ここに記した項目を早急に府政に反映されることを強く要望する。

#### 記

○孤立化しやすいひとり親に対しては中長期的な自立支援の観点から、就労支援の強化や、令和3年度に国で予算が創設される「ひとり親家庭住宅支援資金貸付事業」を大阪府でも実施すること。

○新たな職業に就くことができるよう、職業訓練については期間やWEBを活用するなど内容の多様化・柔軟化で安定した就職活動ができるよう取り組むこと。

○NPO団体の調査で、金銭的理由で生理用品の入手に苦労したことがある若者の割合が20.1%にのぼる実態があきらかになりました。防災備蓄品を活用し、府と関係機関が連携して経済的な理由で生理用品を買えない女性への支援策を講じること。

○国の地域女性活躍推進交付金を活用し、コロナ禍で孤立化し、不安や悩みを抱えた女性たちに対する相談体制の更なる充実や居場所づくりの提供など NPO 等の民間団体と連携した支援を強化すること。